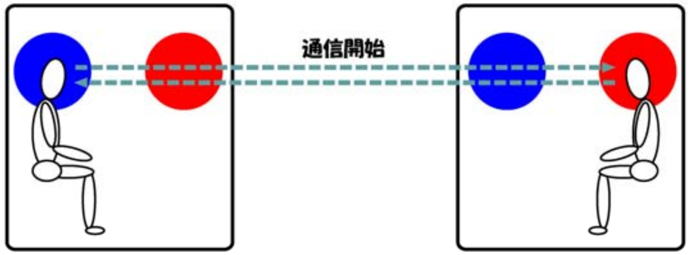
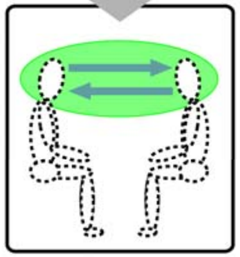
三次元音響空間を物理的に伝送する リアリティ音場通信に関する研究

(1) 離れた位置にいる複数の人がリアリティ音場通信を開始する



(2) リアリティ音場通信システムを介して音響空間を共有する

お互いの音響空間が密結合しリアルなコミュニケーションが可能になる。
遠隔地にいる他者との深いコミュニケーションが実現する。



1. 研究目的

三次元音響空間を物理的に双方向に伝送する技術
すなわちリアリティ音場通信技術が実用可能であることを示し
世界初の音響空間伝送実験を行う

2. 研究内容・期待される研究成果

・境界音場制御の原理に基づく三次元音響空間の物理的な双方向伝送を可能とするBSCインターフェースの開発
・BSCインターフェースの性能の物理的・心理的な定量化による客観評価
・リアリティ音場通信実験による境界音場制御の原理の実証
空間認知のリアリティに関する心理量の提案
・同一の聴空間を共有し密なコミュニケーションを体験できる環境の整備
・聴空間コンテンツという新しい価値体系の提案

3. 研究成果の社会的意義・社会への波及効果

・完全かつ厳密な立体音響再生は不可能であるという音響学の分野における歴史的常識の修正
・従来の一方向ではない、双方向通信への立体音響再生の実用可能性の提示
・「境界音場制御の原理」という国内発基礎理論の海外への発信
・現代社会で忘れ去られている原初的、動物的、暗黙知的なコミュニケーションの重要性の見直し